

**株式会社BBH(3719)  
2010年12月期 第2四半期  
決算説明資料**

2010年8月25日

1. 2010年12月期 第2四半期 決算概要
2. 2010年12月期 通期見通し
3. 今後の課題と方針

# 1. 2010年12月期 第2四半期 決算概要

## 2009年～2010年の施策と2010年12月期第2四半期のトピックス

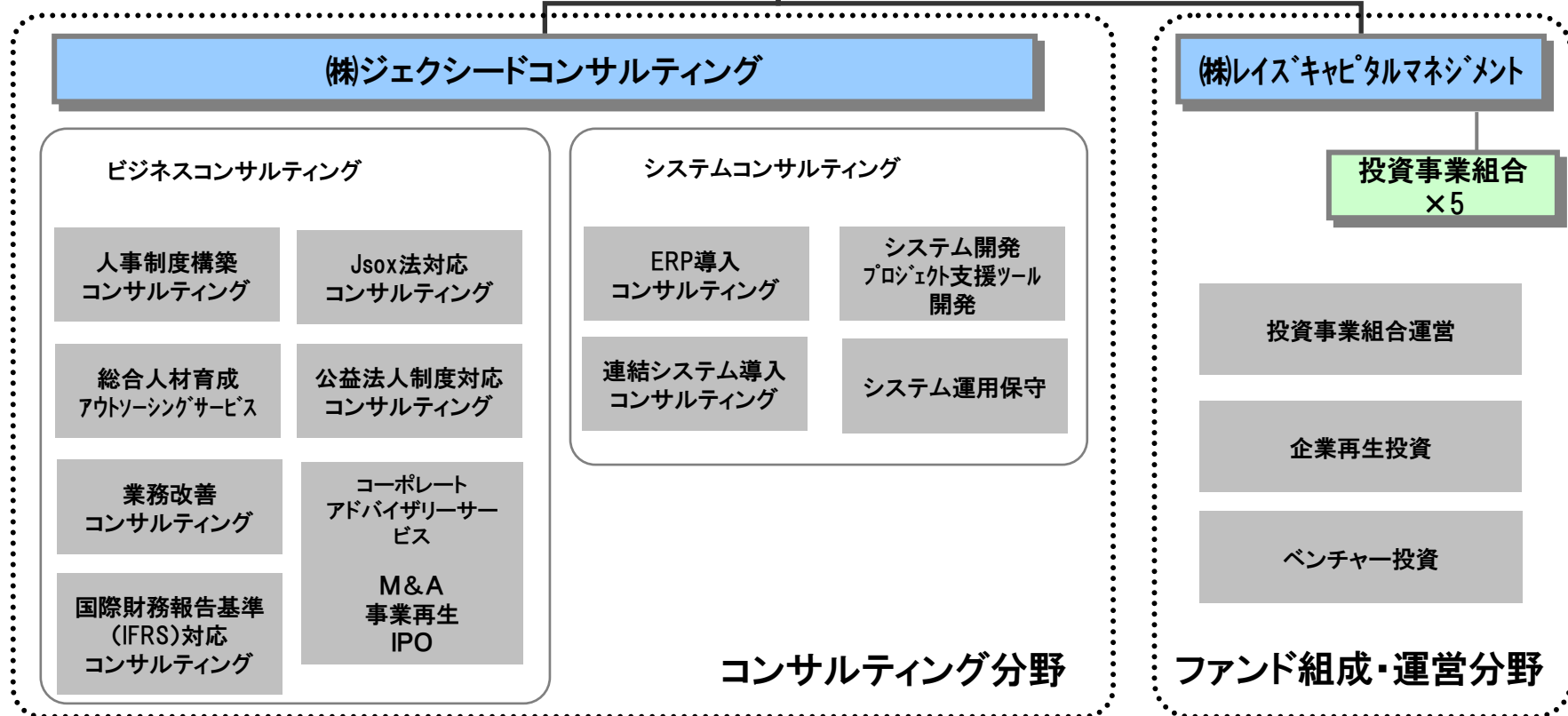
### 施策

- **財務体質健全化**  
(2009年)
  - ✓ 2009年1月に社債の早期償還。借入金の返済。(2010年)
  - ✓ 継続して借入金の返済を実施。連結有利子負債残高を大幅圧縮。
- **コンサルティング事業への回帰(集中と強化)**  
(2009年)
  - ✓ (株)Symphony Maxを(株)ジェクシードコンサルティングが吸収合併。(2010年)
  - ✓ 株式会社ビジネスバンクパートナーズを解散し、金融アドバイザリーサービスの提供を(株)ジェクシードコンサルティングへ。
- **コスト削減のための施策実施**  
(2009～2010年)
  - ✓ コスト削減の施策  
⇒2009年11月に本店の移転を実施  
⇒コンサルティング事業の管理・事務部門の集約

### 一定の成果

- **営業キャッシュ・フローの黒字化**  
(2010年12月期第2四半期)
  - ✓ 営業キャッシュ・フローの黒字化。
- **コンサルティング事業の黒字化**  
(2010年12月期 第1～第2四半期)
  - ✓ 同事業の主力である(株)ジェクシードコンサルティングの単体決算の黒字化
  - ✓ 連結事業の種類別セグメントの業績において営業黒字。
- **連結四半期純損益の黒字化**  
(2010年12月期 第2四半期)
  - ✓ 清算中の元持分法適用関連会社による一部分配により、最終損益を黒字化。

# 株式会社 BBH



コンサルティングサービスの提供を集約し、ノウハウの共有の強化、スピーディーかつ綿密なワンストップコンサルティングを実現。

## 2010年12月期 第2四半期 連結P/Lの概要

(単位:百万円)

	2009年12月期 第2四半期(連)	2010年12月期第 2四半期(連)	前年 同期比
売上高	643	596	▲46
売上原価	620	436	▲183
売上総利益	23	160	137
販売費及び一般管理費	298	184	▲113
営業利益	▲275	▲24	250
経常利益	▲274	▲23	250
特別利益	1	50	48
特別損失	2	2	—
少数株主損失	▲16	▲5	10
四半期純利益	▲260	29	289

• コンサルティング事業の再編により同事業全体のボリュームがやや減少しているものの、売上総利益においては前年同期より大幅回復。

• 訴訟等により報酬等に一定の計上があるものの、本店移転による家賃の大幅削減、その他のコスト削減効果により縮小。

• 株式会社NSPによる残余財産の一部分配による特別利益が発生

**経常損益、営業損益において大幅な赤字縮小、  
四半期純損益においては黒字転換を実現。**

## 2010年12月期 第2四半期 連結B/Sの概要(資産の部)

(単位:百万円)

	2010年12月期 第2四半期(連)	2009年12月期末 (連)	増減比
流動資産	440	328	34.1%
現金及び預金	235	76	205.7%
売掛金	181	204	▲11.2%
仕掛品	7	1	283.1%
前払費用	8	4	70.3%
その他	11	45	▲74.5%
貸倒引当金	▲3	▲5	—
固定資産	175	241	▲27.3
有形固定資産	22	23	▲3.8%
無形固定資産	24	28	▲15.4%
投資その他の資産	161	189	▲27.1%
貸倒引当金	▲32	▲32	—
資産合計	616	570	8.0%

- 敷金及び保証金の回収(97百万)、配当の受け取り(51百万)による現金及び預金の増加
- 借入金返済(51百万)による現金及び預金の減少

- 株式会社NSPの残余財産分配による投資有価証券の減少

## 2010年12月期 第2四半期 連結B/Sの概要(負債の部、純資産の部)

(単位:百万円)

	2010年12月期 第2四半期(連)	2009年12月期末 (連)	増減比
流動負債	176	186	▲5.2%
買掛金	34	21	62.4%
一年内返済長期借入金	32	75	▲56.0%
未払金	20	40	▲49.8%
その他	88	49	79.3%
固定負債	52	20	158.6%
長期借入金	30	—	—
その他	21	20	6.4%
負債合計	229	206	10.8%
株主資本	306	277	10.5%
少数株主持分	80	86	▲6.5%
純資産合計	387	363	6.5%
負債純資産合計	616	570	8.0%

- BBH借入金の返済(5,000万円)
- 子会社(GC)の銀行借入(4,000万円)

- 四半期純利益計上のため

# 2010年12月期 第2四半期 連結キャッシュフロー計算書の概要

(単位:百万円)

	2009年12月期第2四半期(連)
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲254
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲38
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲878
現金及び現金同等物の増加額(▲減少額)	▲1,171
現金及び現金同等物の期末残高	325

2010年12月期第2四半期(連)
77
92
▲11
158
235

(主要因)

- 四半期純利益(税前)・・・24百万
- 未払金の減少・・・▲20百万円
- 受取配当金受取額・・・51百万円

- 敷金保証金差入、回収(純額)・・・97百万円

- 借入金(長期・短期)の借入・・・40百万
- 借入金(長期・短期)の返済・・・▲51百万

2009年12月期末

76

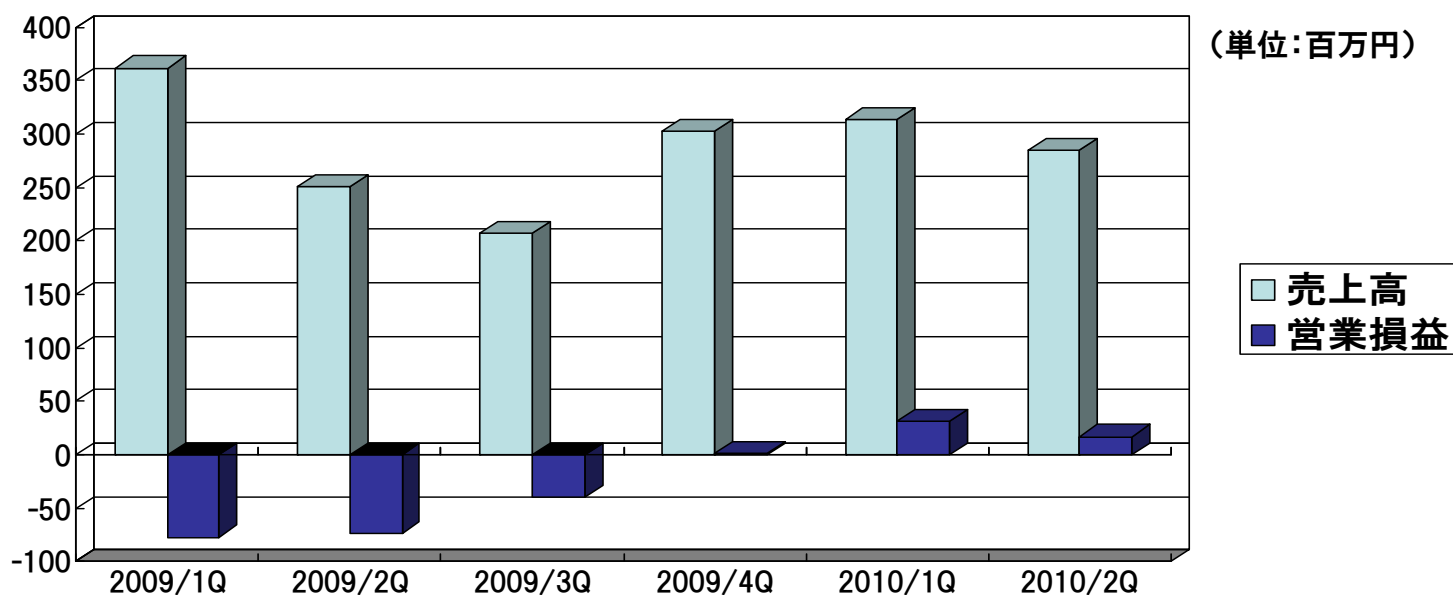
- **営業活動によるキャッシュ・フローの改善、敷金、保証金の戻りによる現預金の増加。**

2009年末時点において76百万円と一時的に厳しい状況であった現金及び現金同等物期末残高は、**235百万円まで回復。**

## 2009年12月期～2010年12月期 第2四半期 コンサルティング事業の推移

- 当社主力事業「コンサルティング事業」の2009年から2010年第2四半期までの業績推移
  - ✓ 経済不況の影響及び当社グループの訴訟の影響等により、売上は減少傾向にあったが、2009年12月期第3四半期以降、一部の景気回復の見通しにより復調の兆し。
  - ✓ 同事業の業務改善、コスト圧縮の効果により、継続した営業利益の確保を実現。今後も継続した利益計上に注力。

	2009年12月期				2010年12月期	
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
外部売上高	362	251	207	303	314	285
営業損益	▲77	▲74	▲40	1	31	17



## ビジネスコンサルティング

- ✓ 人事領域における制度設計、育成分野での実績を中心に順調に推移
- ✓ J-Sox対応支援コンサルティングは、継続対応等の案件に限定されながらも堅調に推移。
- ✓ 公益法人認定等の制度対応支援において実績の確保
- ✓ 国際財務報告基準(IFRS)への対応コンサルティングとして各種セミナーの実施。個別セミナー等の開催で顧客との関係を構築し、今後の案件化に期待。

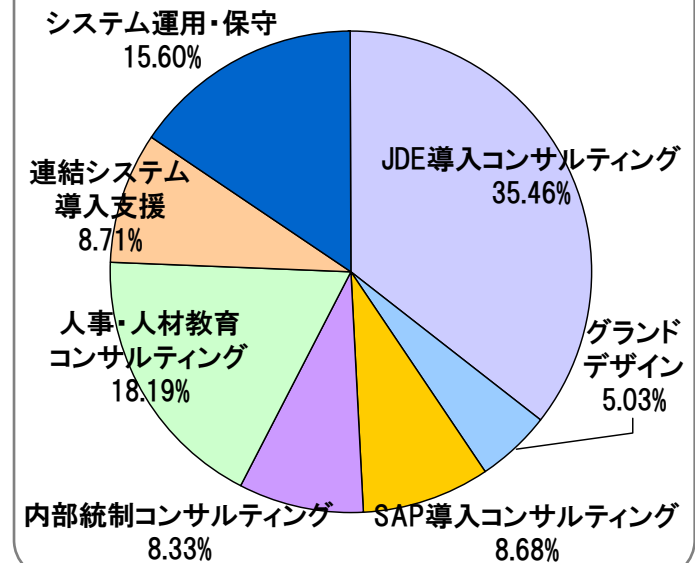
## システムコンサルティング

- ✓ 景気の復調に伴う企業の設備投資意欲の向上に合わせ徐々に回復。
- ✓ ERP導入に関し、ノウハウをテンプレート化、パッケージとして提供の実績。
- ✓ 効率的な導入手法の確立(短期・低コスト)
- ✓ パッケージ選定前(グランドデザイン)からの案件獲得
- ✓ 対応領域の拡大(流通・製造)

## コーポレートアドバイザリーサービス

- ✓ ビジネスコンサルティング、システムコンサルティングとの複合的なサービス提供を重視した体制に移行。

上位20位までのプロジェクト売上高比率



## 2. 2010年12月期末の見通し

## 2010年12月期 下半期の重点方針

### BBHグループの管理・運営

(株)BBH

- グループ全体の強化、業績向上につながるサービス(グループ構成)の展開を検討。
- グループ各社の営業に積極的に関与し、業績の向上を図る体制の構築。
- 係争中となっている案件の早期解決により業績への影響を軽減。
- グループ全体の効率化、管理、運営コストの更なる削減に注力。

### コンサルティング事業

(株)ジェクシードコンサルティング

- アライアンスモデル(提携先からの下請け)からプライムモデル(直販)への転換の促進。
- 上記のために必要とされるコンサルタントの教育、養成。
- 積極的な人材採用を通じた事業の活性化、事業成長促進。(期中の随時中途採用計画の実行。)
- 大阪事務所の営業活動強化による西日本地区への更なる事業拡充。
- 取扱い商材の拡大

#### ビジネスコンサルティング

- ・国際財務報告基準(IFRS)対応、公益法人制度対応等の新たなサービスの積極展開
- ・組織成長の源泉“人財”の採用・開発・管理の仕組み化、定着化を強力に推進
- ・広範囲な人事領域をカバーし、中長期のリレーションを構築
- ・リスクコントロールに関連する新たなサービスの提供に向けた事前準備の開始。

#### システムコンサルティング

- ・ERP導入テンプレート「GC Smart for Accounting」の積極的展開で優位性の向上を図る。
- ・対応領域を拡大し新たな顧客・業種の発掘に繋げる

### ファンド組成・運営分野( 機器販売 その他事業 )

(株)レイズキャピタルマネジメント

- 既存ファンドの安定的な運用とコンサルティング事業との相乗効果の期待できる案件の発掘に注力。

## 2010年12月期 業績予想

- 2010年12月期の基本方針及び現在の経済環境、経営環境等を勘案し、平成22年7月26日開示の第2四半期決算短信において、以下のとおりの業績を予想しております。

### 【2010年12月期 連結業績予想】

(単位:百万円)

	2009年 12月期実績(連)	2010年12月期 通期予想(連)
売上高	1,166	1,253
営業利益	▲373	4
経常利益	▲375	4
当期純利益	▲304	51
1株当たり当期純利益	▲33円58銭	5円73銭

### 【2010年12月期 単体業績予想】

(単位:百万円)

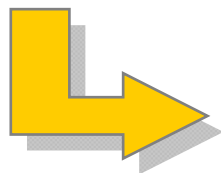
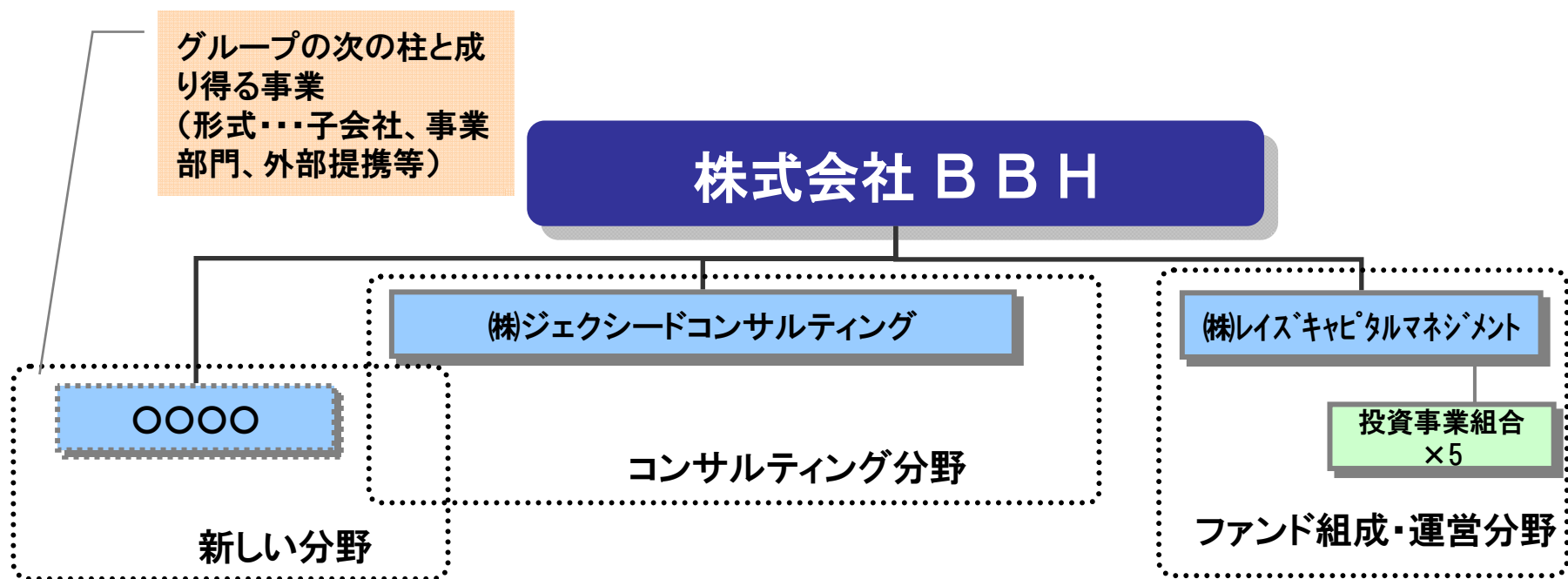
	2009年 12月期実績(単)	2010年12月期 通期予想(単)
売上高	181	76
営業利益	▲161	▲120
経常利益	▲148	▲111
当期純利益	▲147	▲46
1株当たり当期純利益	▲16円31銭	▲5円18銭

# 3. 今後の課題と方針

# グループ構成

## ■グループ構成の今後の課題

- コンサルティング事業の業績回復と安定化
- 複数の事業運営によるグループ全体の安定化
- グループ全体の収益の拡大



これまでの会計、人事を中心とする様々な業務ノウハウを活用できる事を中心に検討しながら、必ずしも事業区分、業種にとらわれない新しい収益基盤、収益力の確保と育成を企画。

株式会社BBH  
管理本部 IR担当

TEL :03-5456-3051  
e-mail :ir@bbank.co.jp

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。